

HDDファイルの完全削除



左は、以下に説明する動画ファイルと、ファイルを削除するアプリケーションを書き込んだCD-Rです。

これを作成するとHDDの丸ごとファイル削除が簡単です。削除は、乱数を書き込んでからファイル名を削除するので復元は不可能です。もし復元しても、単なる動画ファイルでは苦勞も水の泡です。

必要なファイル

1. CD-Rに入れられる最大のファイル。1ファイル。
2. フリーソフト、FCDelete. lzh : 89kb。

1のファイルは、動画ファイルが手に入りやすく、Webを探して500Mbくらいの物をダウンロードして使いましょう。また、短いファイルを何回かコピーして連結したのも可能です。大きいファイルの方が後の操作が楽です。

次のFCDeleteは1Mb以下なので、CD-Rの容量から30Mbくらい小さなものでも可能でしょう。500Mbだと使用時に9回コピーすると原本とで5Gbと計算が楽です。

2はファイルに乱数を書き込んで削除するソフトなら何でも使えます。

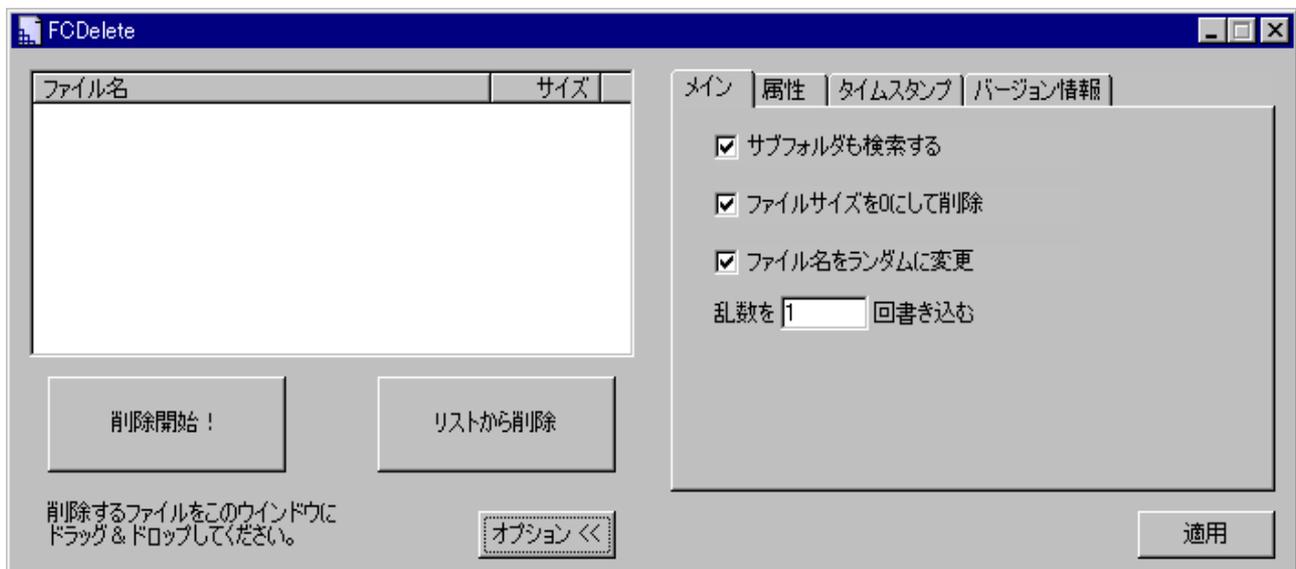
FCDeleteの設定

FCDelete. lzhを解凍し、実行すると次の画面が出ます。



使い方は簡単で、窓枠内に削除するファイルをドラッグ、ドロップして削除開始！をクリックするだけです。

その前に設定が必要です。オプションをクリックすると次の画面が出てきます。



メイン画面はすべてにチェックを入れ、乱数を書き込む回数は速度を重視して最小の1に設定します。

次の属性は、設定なしでも可です。小生も設定していません。



タイムスタンプは適当な日付にします。

画面では、2000年1月1日などとなっています。

次のバージョン情報は、作者の名前やURLが記してあります。

適用をクリックし、次にオプションをクリックして右側を閉じます。

この設定はすべてSET.INIに書き込まれます。

CD-Rへの書き込み

前述の500Mbのファイルと、FCDeleteのフォルダー内のファイルをフォルダーごと書き込みます。

CD-R、完成です。

HDDファイルの完全削除の方法

パソコンは、W I N D O W Sで起動します。

例えば、D : ¥ドライブのファイルをすべて削除するとします。

1. 最初にD : ¥ドライブにどのくらいのファイルがあるかを調べます。
ドライブのプロパティで表示されます。ここで、6. 2 G bと仮定します。
2. D : ¥のすべてのファイルを選択し、削除します。ゴミ箱に入ったファイルを空にします。これでは、復元ソフトを使うと元に戻ります。
3. 作成したC D - Rから、5 0 0 M bのファイルをD : ¥にコピーします。
4. D : ¥に書き込んだ5 0 0 M bのファイルをコピーして貼り付けます。
コピー1、コピー2、コピー3と、最初にあったファイルのバイト数以上になるようにコピーします。今は、1 2回コピーすると、原本+1 2で6. 5 G bになります。
5. C D - Rから、F C D e l e t e . e x eを実行します。これは、D : ¥へはコピーしないで使います。画面が起動したら、5 0 0 M bのファイルをすべて選択し、ドラッグ、ドロップして、削除開始！をクリックすれば、乱数を書き込んで削除が完成します。C D - RにあるS E T . I N Iは書き換えられませんので、ここで設定をしてはいけません。読み込んで実行するだけです。
6. 削除完了です。